

令和6年度「教育実践報告」募集案内

主催：公益財団法人 日本教育公務員弘済会埼玉支部

後援：埼玉県教育委員会 さいたま市教育委員会

埼玉県公立小学校校長会 埼玉県中学校長会 埼玉県高等学校長協会

1 趣 旨

埼玉県内各学校・教育機関における個人（グループを含む）または学校を対象として、優れた教育実践報告に研究助成金を贈り表彰するとともに、教弘文庫「教育実践報告集」として刊行し、県内各学校・教育機関に配布して、本県教育の振興に寄与する。

2 応募部門

部門	対象
(1) ヤング部門	年齢35歳未満の教職員等の個人
(2) 一般部門	年齢35歳以上の教職員等の個人、グループ（年齢は不問）
(3) 学校部門	埼玉県内の学校等

なお、(1)、(2)における年齢の基準日は、令和6年4月1日とします。

3 実践・研究の分野とその対象

実践・研究の分野	対象部門
(ア) 教科指導を主とするもの	ヤング部門、一般部門（グループを含む）、学校部門
(イ) 教科指導以外の分野の指導に関するもの	
(ウ) 学校運営、学校間連携、保護者・地域社会との連携などに関するもの	学校部門

4 応募要件

- (1) 応募は、実践に基づくものとし、ヤング部門、一般部門（グループを含む）の場合は、個人1人（1グループ）につき1編、学校部門の場合は、学校1校につき1編の応募とします。
- (2) 公的機関等への研究委嘱等に関わる報告書、研究会・市販の図書・教育誌等に既に発表したもの及び他団体に応募済みのものなどは応募できません。
- (3) 過去3年以内（令和3年度から令和5年度）の優秀賞・優良賞の受賞者は応募できません。
- (4) 応募された原稿の著作権は当支部に所属し、提出いただいたもの（写真等を含む）は返却しません。

5 応募形式及び「応募要件確認書」

- (1) 表紙に、1.「上記2」の部門（1）ヤング部門、（2）一般部門（グループ含む）、（3）学校部門のいずれの応募であるか、2.「上記3」の分野（ア）、（イ）、（ウ）のいずれであるか、3. 所属校・職名・氏名（グループの場合は代表者名、学校の場合は校長名）、4. 研究主題、5. 研究副題、6. 研究の要旨（研究内容を明確かつ簡潔に800字以内でまとめてください）を記入します。（「記入例①」を参照してください。）
- (2) 2ページ目は、初めの6行分を用いて、研究主題、研究副題、所属校、職名、氏名（グループの場合は代表者名、学校の場合は校長名）を記入します。本文は、7行目から書き出します。A4判の用紙を横書き・縦長で使用し、1枚につき、24字×43行×2段組（フォント10.5）のパソコン印字によるもの4枚以内（写真、図表等すべての資料を含み、図表等はしっかりと判別できるものに限る）とし、文章化（日本語による。）することとします。パワーポイントは不可とします。（「記入例②」を参照してください。）
- (3) 上記4の（2）及び（3）を確認するための「応募要件確認書」（所定用紙）を提出します。
上記（1）、（2）、（3）は、当支部HPから圧縮データ（zip ファイル）をデスクトップ等にダウンロードしてご利用ください。

6 応募期限 **令和6年8月30日（金）必着**（上記5－（1）、（2）、（3）を簡易書留でお送りください。）

7 審査及び審査基準

（1）審査・選考は、（公財）日教弘理事長が委嘱する審査委員が行い、支部長が決定します。

（2）審査基準

①内容が、当面する教育課題に対しての取り組み、実践であること。

②実践の成果として、児童・生徒や学校、地域社会等の変容が具体的に見えること。

③実践に傾けるひたむきな努力や熱意が感じられること。

（3）応募形式を大幅に逸脱する場合には、審査の対象とならないことがあります。

8 表彰等・・・ヤング部門、一般部門（グループを含む）、学校部門ごとに下記（1）のとおり表彰します。

（1）「優秀賞」数編に各10万円、「優良賞・佳作」数編に各5～1万円を贈り、入選以外の応募者には、記念品を贈呈します。

（2）優れた実践報告は、教弘文庫「教育実践報告集」として刊行し、県内各学校・教育機関に配布します。

（3）「優秀賞」の中から数編を「**日教弘教育賞**」論文募集（後援：文部科学省）に推薦します。

9 応募・問い合わせ先

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-12-24

公益財団法人 日本教育公務員弘済会埼玉支部 教育実践報告係

<https://www.kyoko.or.jp/> 電話：048-822-7554



（詳細はこちらから）

10 その他

募集により取得した個人情報は、当事業実施のための連絡等以外には使用いたしません。